

令和7年度女性活躍推進フォーラム 今後のセミナー(予定)

●東京&九州合同オンライン開催

12月18日(木)

●リアル開催：企画プレゼンテーション

東京=2026年1月29日(木)、九州=2月19日(木)

女性活躍推進フォーラム 開催概要URL

<https://www.nichiyukyo.or.jp/event/24903/>

女性活躍推進フォーラム 第3回

「視覚」に響くプレゼン指南

竹部裕樹氏が実務講座



講師の竹部裕樹氏

東京・九州で43人が参加

令和7年度第3回「女性活躍推進フォーラム」が11月25日、オンラインで開催され、東京と九州の2拠点から25社43人が参加した。山下夏恵委員による全体進行に加え、今回は東京Cグループの古田愛美さんが日直を務めフォーラムを進めた。

まず前回の振り返りを、東京・九州の参加者をシャッフルして作ったグループ(シャッフルグループ)で行った。続くセミナーは、エンタテインメントビジネス総合研究所の竹部裕樹氏が講師に立ち、第5回(来年1月25日)の最終プレゼンテーション準備に向けて講義を行った。

竹部氏はまず、プレゼンに向けた企画書作成は、オンラインを使ったチーム作業のため、リアルとは異なり空間の共有が難しく、視覚、聴覚以外の触覚

味覚、嗅覚の共有は不可能という状況で、円滑なコミュニケーションを図り信頼関係構築を行うには、視覚的な協調で空間共有の不足を補う必要があると説明した

現在までにまとめた企画書をもとに、ブレイクアウトルームに分かれプレゼンの練習を行ったり、他グループからの意見を得たりする体験をした後、講義に移った。基礎知識やビジネス話法、聴く人にとってわかりやすいプレゼンの構成などのポイントを学んだ。

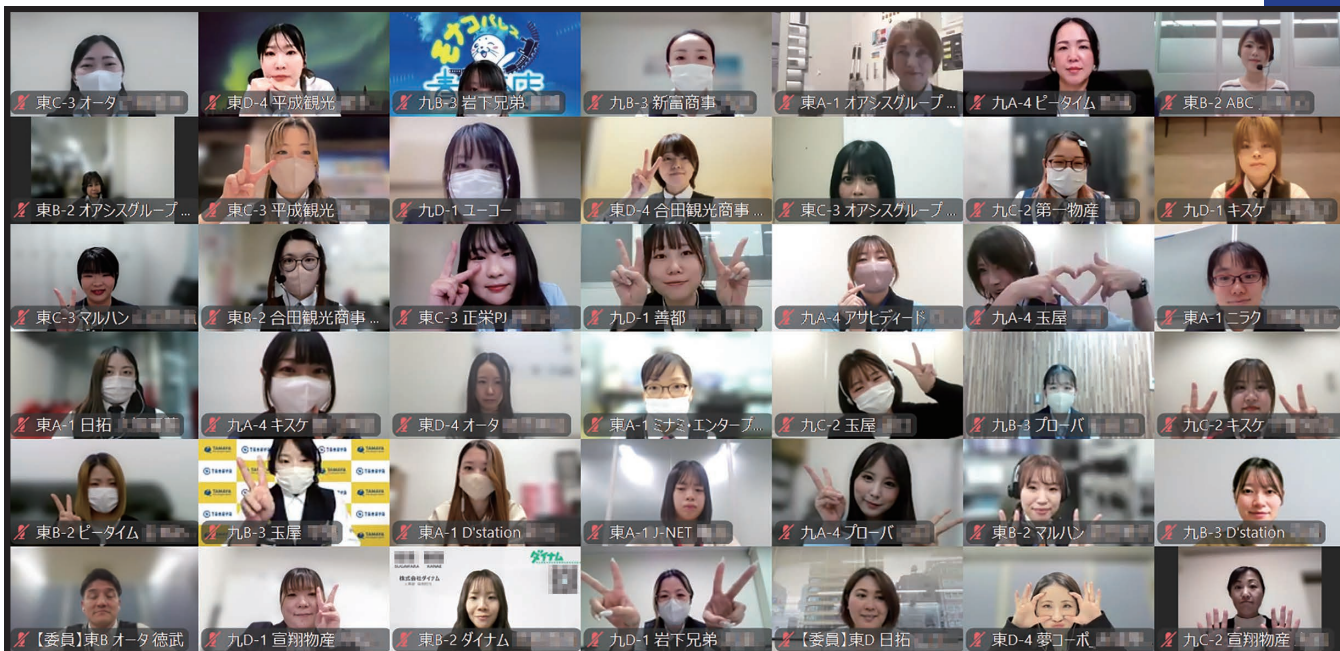
参加者は他グループとの意見交換などからも多くを学んだようである。第2部のグループワークで行った企画書の精度向上に反映されていた。

羽山雄介副委員長は「1月、2月の本番では、誰に見せる企画なのかを意識して、ターゲットを絞って作っていただきたと思います。自分たちの思いに凝り固ま

らず俯瞰して見て、だれがこの企画で動くのか、といった視点で眺めるとまた新しい発見があるかもしれません。宿題も、1か月ほどしか時間がありませんのでしっかりと取り組んでください」とあいさつし、今回のフォーラムを締めくくった。



司会を務めた山下夏恵委員



東京と九州で43人がオンラインで参加